

スポーツクラブで地域づくり

パネルディスカッション「地域スポーツの楽しさ～みんなが集う楽しみのススメ」

黒須 種日や世代を超えた「総合型」

山本 総合型地域スポーツクラブの楽しさを、現状などを交えて話していただきました。一人ずつミニ講演をお願いします。

黒須 わが国のこれまでのスポーツは、種目ごとにバラバラに活動してきた。ところが人口が減少に転じ、少子高齢化が進み、人数が集まらない種目や淘汰される種目が増加している。今後は種目や年代の垣根を超え、地域に開かれたシステムへの転換が不可欠ではないでしょうか。

総合型地域スポーツクラブは近隣の公共施設などを活用し、すべての世代の人々が生涯を通してスポーツを楽しむことができる組織構造と理念を持ったクラブ。今年7月現在、全国167市区町村に2905のクラブが育成、準備中で、青森県は20市町村に25クラブが設立、または準備中。これからはクラブを増やすことだけでなく、質の向上も考えなくてはなりません。

これまで、わが国のスポーツ界は、同じ種目を同じ年代が集まって楽しむという内向きな傾向が強かった。総合型クラブは内輪で楽しむ私益、



黒須 充氏

仲間や楽しむ共益を超え、地域の人たちに開かれた公益を目指したクラブである位置づけたいと思います。

山本 桑田さんはバスケットボールの五輪代表の経験があり、現在はNPO法人のスポーツクラブ理事長をされています。

黒須 種日や世代を超えた「総合型」



黒須 種日氏

桑田 「地域総合スポーツ倶楽部ピポット」を立ち上げ8年目。東京都大田区でバスケットボールを主にしながらテニス、チアリーディング、フィットネス、ランニング、ゴルフなどの種目を展開し、会員数は400人強。明るく元気な社会づくり、街づくりの貢献できるスポーツは地域の財産であり、夢や希望を提供できるという考えを実感して活動しています。

子供がまっすぐ走れない、スキップできない、一方で教えたこともろくに覚えてくれないという状況がある。その中で体づくり、スポーツを通して心づくりは、大変有意義だと思っています。

地元バスケット女子日本リーグWリーグのエハラウイキーズがあり、私はヘッドコーチも務めているんです。

八戸 児童の体力向上で成果も

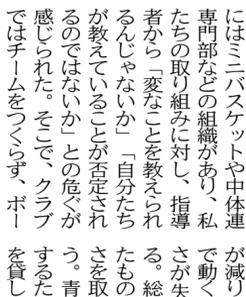


八戸 児童の体力向上で成果も

八戸 青森県教委の08年度小学校スポーツ活動調査によると、県全体のスポーツ加入率は33.7%。だいたい30%の児童がスポーツ活動をしており、その半分以上が学校の運動部活動やクラブ活動。その一方で、実技指導が難しい先生が多いことも分かってきました。子供たちにもっとスポーツをやってほしいと思ってるんです。受け皿になるのが総合型クラブになるのじゃないかな。

県内の例を見ると、三ツ岳スポーツクラブ(新郷村)は今年準備委員会を立ち上げた。本年度の設立を目指す車力楽笑(ワイワイ)スポーツクラブ(つがる市)はナイトウオーキングやニュースポーツ体験などに取り組んでいます。

桑田 地域ぐるみの活動を構築



桑田 健秀氏

桑田 設立したばかりのウインズスポーツクラブ(八戸市)は白山台小学校を中心に活動しており、コーディネーション(子供の体力作り)教室が自玉。20歳走や反復横跳びなどの記録が伸びるなど、成果も出ています。

県内のクラブはスポーツ競技中心のクラブやレクリエーションのクラブ、中高齢者の運動を中心としたクラブがある。楽しいイベントも多く、総合型クラブはまちのコミュニティだと思っています。

山本 文部科学省の08年度の総合型クラブの実態調査によると、クラブ設立時に既存の施設をどう考えますか。

黒須 英語の辞書でClub(クラブ)を引くと、動詞に何かを持ち寄るとある。お金、知恵、労力を持ち寄り、クラブにかかわる、参加するということ。得意分野を持ち寄り、足りない部分を補い合うという形で、人間関係、住みよい社会がスポーツを通じてつくられる。総合型クラブはスポーツを軸とした地域づくりと言っているんです。

山本 青森県の県民性で温かさを挙げると、人口が減り、社会が忙しな単位の動きのような時代では、温かさが失われていくこともありますが、総合型クラブはそういうものをリセットして、温かさを取り戻すシステムだと思います。青森の良さをもっと発揮するために、総合型クラブに手を貸してください。

折で終わるし、ここから「ありがと」と言った。アスリートに集めたか『よし、やってみよう』。独特のキャラクターでらいつて、結果が出ると思っただけで経験に。オントフを自分でかという無理。中心選 変わる』と話し、またエ切り替えて自立していか手、そこをサポートする。二ホムを着た。挫折を ない、世界では勝てない。経験し、人間力が加わっ のです。

メダルが欲しいといううプロデュースした。私。プレーで、ミスや選手が欲しいというが中心に置いたが吉原 ガタイなところを引きでもいい、うまくいった知子、竹下佳江、高橋みずら、もう1本と「金メダル」と言ったりゆき。吉原は熱さを胸に 思わせる信頼関係をつくる。3番目にしかならない。3番目の努力が足りないから。やっぱり金メダルが取れなかった。と自信なくして終わる。やはり金、1番です。1番狙って負けての銅メダルは値打ちがない。土台ができてから、1番を狙う。1番を勝てない。半歩前進と輪の出場権を逃した。03年。勝てない人間でも失。『戦犯』にされた。バのワールカップで、ア敗や挫折する。でもそれ、ボールをやめてしま ナウンサーが涙でうわす。おを挫折する。でもそれ、竹下は「人間失敗し ったとき、マイクをしないといけないの。折折したりいろいろ なったとき、マイクをしないといけないのである。このままなら挫 取って「みんな元気？」

文部科学省委託事業「総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラム in 青森」(主催・日本体育協会、青森県体育協会、共催・東奥日報社、全国地方新聞社連合会)が9月13日、青森市の青森国際ホテルで行われた。フォーラムにはスポーツ関係者ら約300人が参加。前全日本女子バレーボールチーム監督の柳本晶一氏が基調講演。黒須充氏(福島大学教授)八戸由美子氏(青森県体育協会クラブ育成アドバイザー)桑田健秀氏(NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピポットフット理事)をパネリスト、山本浩氏(法政大学新聞社連合会)がモデレーターにパネルディスカッションを行った。子供からお年寄りまで、いつでも参加できる総合型地域スポーツクラブの育成の必要性などについて語り合った。

女子バレーボールは東京、モントリオール五輪で金メダルを取った。でもロサンゼルス五輪の銅を最後に金メダルを取らな。2000年のシドニー五輪は出場権が取れず、02年の世界選手権は史上最低の13位。アテネ五輪も危ないと言われた中、私に監督の話が来た。周りは火中の栗を拾うなと、反対しました。

でも、なぜ引き受けたか。全日本女子の前に4チームの監督をしましたが、いずれもスタートはどんだ、そこからはい上がり最後はトップを取った。また、世界13位でも、選手一人一人が持っている力は高く、やり方を変えれば、何とかなるので

柳本 晶一氏



柳本 晶一氏

柳本 晶一氏(1951年、大阪生まれ。76年にモントリオール五輪に出場し4位。2003年2月、全日本女子監督に就任。04年アテネ五輪で5位。08年の北京五輪でも5位)

は、この自信があまりに 目標設定が低くなっている。ただ、自信はあつた。これをどう変えるか。目標の設定を明確に。『戦うんだ』という、目標の設定を明確に。目標を聞かされた。チームを引きさ。『世界のトップになる』という目標を設定した。以前は世界を狙うという目標は、目的意識もそれでも構わなかった。もう一回よみがえらせ、もう一つはキャスティング。各チームのトップ 折で終わるし、ここから「ありがと」と言った。アスリートに集めたか『よし、やってみよう』。独特のキャラクターでらいつて、結果が出ると思っただけで経験に。オントフを自分でかという無理。中心選 変わる』と話し、またエ切り替えて自立していか手、そこをサポートする。二ホムを着た。挫折を ない、世界では勝てない。経験し、人間力が加わっ のです。

メダルが欲しいといううプロデュースした。私。プレーで、ミスや選手が欲しいというが中心に置いたが吉原 ガタイなところを引きでもいい、うまくいった知子、竹下佳江、高橋みずら、もう1本と「金メダル」と言ったりゆき。吉原は熱さを胸に 思わせる信頼関係をつくる。3番目にしかならない。3番目の努力が足りないから。やっぱり金メダルが取れなかった。と自信なくして終わる。やはり金、1番です。1番狙って負けての銅メダルは値打ちがない。土台ができてから、1番を狙う。1番を勝てない。半歩前進と輪の出場権を逃した。03年。勝てない人間でも失。『戦犯』にされた。バのワールカップで、ア敗や挫折する。でもそれ、ボールをやめてしま ナウンサーが涙でうわす。おを挫折する。でもそれ、竹下は「人間失敗し ったとき、マイクをしないといけないの。折折したりいろいろ なったとき、マイクをしないといけないのである。このままなら挫 取って「みんな元気？」

目標は高く、戦う集団に

総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラムin青森

主催/(財)日本体育協会、(財)青森県体育協会 共催/東奥日報社、全国地方新聞社連合会 後援/青森県教育委員会、青森市教育委員会、(財)青森市体育協会

文部科学省委託事業 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

青森でも続々誕生！ 総合型地域スポーツクラブ

スポーツは人々の心や身体の健全な発達を促し、生命力や活力を与えてくれるとともに、健康で豊かなライフスタイルを構築し、夢や生きがいのある社会の形成に重要な役割を担っています。「いつでも・どこでも・誰でも・いつまでも」を合言葉に、今、総合型地域スポーツクラブづくりが青森県の各市町村で取り組まれています。総合型地域スポーツクラブは、地域の子どもからお年寄りまで、より多くの方がスポーツ活動に参加し、健康づくりや青少年の健全育成、そしてコミュニティづくりを目指す活動です。住民一人ひとりが主役である「総合型地域スポーツクラブ」を皆さんの手で作り、参加してみませんか？

青森でも盛り上がる！

みんなでつくろう！

青森県総合型クラブ取り組み状況(平成21年7月1日現在)

市町村名	クラブ名
大間町	①大間町総合型地域スポーツクラブ
むつ市	②むつアスリートクラブ
東通村	③東通村総合型地域スポーツクラブ(設立準備中)
六ヶ所村	④ひばりさわやかスポーツクラブ(設立準備中)
三沢市	⑤スポーツクラブみさわ(設立準備中)
外ヶ浜町	⑥東津軽郡スポーツクラブ
つがる市	⑦いなぎスポーツクラブ
青森市	⑧車力楽笑スポーツクラブ(設立準備中)
	⑨青森総合スポーツクラブ
	⑩Willスポーツクラブ
	⑪CLUB salute
鶴田町	⑫鶴田町総合型地域スポーツクラブ(設立準備中)
板柳町	⑬りんごの里総合型地域スポーツクラブ(設立準備中)
弘前市	⑭NPO法人 リベロ津軽スポーツクラブ
	⑮NPO法人 スポネット弘前
鯉ヶ沢町	⑯鯉ヶ沢町総合型地域スポーツクラブ(設立準備中)
深浦町	⑰深浦町総合型地域スポーツクラブ(設立準備中)
黒石市	⑱NPO法人 くらいしアスリート&エンジョイクラブ
平川市	⑲ひらかわスポーツクラブ(設立準備中)
新郷村	⑳三ツ岳スポーツクラブ(設立準備中)
田子町	㉑田子町総合型地域スポーツクラブ(設立準備中)
五戸町	㉒五戸町スポーツクラブ
八戸市	㉓ヴァンラーレ八戸スポーツクラブ
	㉔ウインズスポーツクラブ
階上町	㉕はしかみ総合スポーツクラブ(設立準備中)

SCステーション クラブづくりの意義やサポート体制、全国で展開されているクラブなどの情報が紹介されています。
http://www.japan-sports.or.jp/local/

●お問い合わせ先
(財)青森県体育協会 総合型クラブ担当……………TEL 017-766-2141
(財)日本体育協会 クラブ育成課……………TEL 03-3481-2278